

みどり豊かな森林環境づくり推進事業 (R7 : 109, 124 千円)

資料 4 - 1

【目的】

地域住民や市町村等の多様な主体が行う計画的かつ広がりのある活動や、地域と連携して行う森づくり活動等を支援することで多様な主体による県民参加の森づくりを推進する。

【対象事業項目及び例示】

- | | |
|----------------|----------------------------|
| 1 豊かな森づくり活動 | [例] 地域住民との協働による里山林の保全活動 |
| 2 自然環境保全活動 | [例] 希少野生生物の生息地の保全活動 |
| 3 森や自然とのふれあい活動 | [例] 子ども達や地域住民に対する森林・自然環境学習 |
| 4 木に親しむ環境づくり | [例] 木材の地産地消の取組み、木工体験 |

【対象経費及び交付率】

- ・対象経費：①報償費 ②旅費 ③需用費 ④役務費 ⑤使用料 ⑥委託料 ⑦負担金（負担金は事業実施主体が市町村の場合のみ）
※ 対象とならないもの：飲食代、土地の借上げ代、汎用性の高い備品購入費（例：パソコン、デジカメ、チェーンソー）など
- ・交付率：10分の10以内

【地域提案事業】

◎多種多様な主体の参画による広がりのある活動への支援

1 県民提案型

地域住民やNPO等が直接実施する活動への支援
事業実施主体：地域住民、NPO等
交付上限額：500千円/事業実施主体
交付額：18,600千円

2 市町村提案型

市町村が地域のニーズや要請に対応して実施する事業への支援
事業実施主体：市町村
交付上限額：5,000千円/事業実施主体
交付額：33,870千円

【市町村里山再生アクションプラン事業】

◎地域活性化を視野に入れ、地域連携で行う活動への支援

市町村が「里山再生アクションプラン」に基づき実施する事業への支援
事業実施主体：市町村
交付上限額：654千円～5,358千円/市町村
※基礎額（524千円）に各市町村の森林面積、人口から算出した額の合計額
交付額：54,994千円

※「里山再生アクションプラン」

市町村が里山地域の活性化を図るために作成する、地域の課題や特性を踏まえた、地域住民との協働による森づくり等の5年間の活動計画（令和4年度から令和8年度まで）

【事業効果】

県民の豊かな発想や自主的な行動を伴う森づくり活動等を実践してもらうことにより、県民の森づくりへの参加意識を一層高めるとともに、森林整備を下支えする保全活動の県内全域への底辺拡大及び定着が期待できる。

令和 7 年度山形県みどり豊かな森林環境づくり推進事業募集要領

第 1 趣 旨

やまがたの豊かな緑を県民共有の財産として健全な状態で未来へ引き継ぐためには、荒廃のおそれのある森林の整備と併せて、県民一人ひとりが森林や自然環境を自らに直接関わる問題として捉え、積極的に森づくり活動等に参加することが必要となっている。

このため、県は、地域住民や市町村等の多様な主体が行う計画的かつ広がりのある森づくり活動や地域と連携して行う森づくり活動を支援することとし、やまがた緑環境税基金を活用した交付金の交付の対象の候補となる事業の提案を募集するものである。

第 2 募集対象事業の要件及び区分等

募集の対象となる事業（以下「募集対象事業」という。）は、やまがた緑環境税充当事業の基本的な考え方（平成 19 年 4 月 2 日み自第 27 号）に合致し、次に掲げる要件の全てを満たす事業を対象とする。

- (1) やまがた緑環境税条例及びやまがた緑環境税基金条例の目的（森林の有する公益的機能の維持増進及び持続的な発揮に関する施策）に合致する事業であること。
- (2) 他の補助金、交付金、負担金その他の財政的援助を受けている、又は受ける見込みのある事業でないこと。
- (3) 個人又は特定の事業者の利益、若しくは政治又は宗教的宣伝を目的とした事業でないこと。
- (4) 各種法令に違反していないこと。
- (5) 事業の実施場所が県内であること。
- (6) 主たる活動を専門業者等に委託する事業でないこと。
- (7) 主たる活動が施設又は設備の整備とみなされる事業でないこと。
- (8) 主たる活動が物品の購入や設置及び展示、贈呈のみとみなされる事業でないこと。
- (9) 地域と協働による実施が可能にも関わらず委託している事業でないこと。
- (10) 令和 7 年度内に完了する事業であること。
- (11) 3 年を超えて実施される事業でないこと。ただし、次のいずれかに該当する場合は、この限りではない。
 - イ 中長期的な計画（市町村においては、市町村里山再生アクションプラン事業を含む）に基づくもの。
 - ロ 年々広がりを見せるもの。
 - ハ 実施主体の自助努力が認められるなど発展性のある活動。
- (12) 安全管理について、配慮がなされていること。

- 2 募集対象事業の事業区分、実施主体、事業項目、交付金の対象経費及び内容、交付率並びに交付上限額は、別表1に掲げるとおりとする。

第3 応募できる団体

募集の対象となる主体は、次に掲げる団体とする。

- (1) NPO法人、企業、組合等の法人格を有する団体
- (2) 学校・幼稚園（地方公共団体が設置するものを除く）、PTA、自治会等の地域団体及びその他任意団体
- (3) 市町村

第4 応募者の要件

第3に掲げる団体（以下「応募者」という。）は、次に掲げる要件の全てを満たすものとする。

- (1) 募集対象事業の会計及び経理を明確に行い、報告することができること。
- (2) やまがた緑環境税活用事業の普及啓発（地域住民や事業参加者への周知、県に対する事業実施前後の情報提供、やまがたの森づくり発表会への協力など）に協力できること。
- (3) やまがた緑環境税活用事業等に関して実施する調査に事業終了後も協力できること。
- (4) 市町村以外の団体にあつては、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第6号に規定する暴力団員若しくは暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者（以下この号において「暴力団員等」という。）がその事業活動を支配するもの又は暴力団員等をその業務に従事させ、若しくは当該業務の補助者として使用しておそれのあるものでないこと。

第5 対象経費の算定

対象経費の算定に当たっては、別表2に掲げる標準的な単価を使用するものとする。ただし、これにより難しい場合又は記載のない単価については、別途調査のうえ適切な単価で算定するものとする。

- 2 活動に必要な鋸、鎌、ヘルメットなどの耐久資材は県等から貸し出すものとするため、これらの購入経費は、原則として対象経費として認めない。ただし、当該購入の目的が次に掲げるものである場合は、対象経費として認めることがある。
 - (1) 市町村が地域の森づくり団体などに貸し出すことを目的として整備するもの。
 - (2) 使用頻度や借入れに係る手間などから購入することが望ましいと判断されるもの。
 - (3) その他購入することが望ましいと判断されるもの。

第6 応募書類の提出及び審査の手続等

応募者は、令和6年12月23日（月）8時30分から令和7年1月24日（金）17時までに、メールや郵送及び持参の方法により、市町村は別記様式第1号（市町村用）による応募書に別記様式第2～4号（市町村用）による応募書類を添えて、市町村以外は、別記様式第5号（県民提案型）による応募書に別記様式第6～7号（県民提案型）による応募書類を添えて、市町村又は事業の実施場所を所管する総合支庁産業経済部森林整備課森づくり推進室森づくり担当に提出するものとする。

- 2 前項の応募書類の提出部数は、郵送や持参の場合2部とする。
- 3 応募書類の作成及び提出に要する経費は、全て応募者の負担とする。また、応募書類は、原則として返却しないものとする。
- 4 提出期限を過ぎて提出された応募書類は、受け付けない。
- 5 審査は、別に定める審査要領に基づき行うものとする。
- 6 審査項目は、別表3のとおりとする。
- 7 応募書類の審査に当たり、確認や別途資料の提出を求める場合がある。
- 8 審査の結果、対象経費を減額調整して採択することがある。
- 9 次のいずれかに該当するときは、不採択又は採択を取り消すものとする。
 - (1) 虚偽の記載をした応募書類を提出したと認められるとき。
 - (2) 審査の公平性に影響を与える行為があったと認められるとき。
 - (3) 募集対象事業の適正な実施が困難であると認められるとき。
 - (4) 第2～第4に掲げる要件を欠くに至ったと認められるとき。

第7 留意事項

本要領に基づく募集は、山形県の令和7年度当初予算が成立することを前提としており、本事業に係る予算の成立をみなければ、事業提案を募集したに留まり、いかなる効力も発生しない。

第8 その他

この要領に定めるもののほか、応募書類の審査、交付金の交付に関する事項その他必要な事項は別に定める。

別表 1 (第 2 関係)

1 事業区分：地域提案事業（県民提案型） 実施主体：市町村以外の団体

事業項目	交付対象経費及び内容	交付率	交付上限額
<p>①豊かな森づくり活動 [例] 地域住民との協働による里山林の保全活動</p> <p>②自然環境保全活動 [例] 希少野生生物の生息地の保全活動</p> <p>③森や自然とのふれあい活動 [例] 子ども達や地域住民に対する森林・自然環境学習</p> <p>④木に親しむ環境づくり [例] 木材や木製品の良さへの理解を図る活動や木工体験など</p>	<p>○報償費 外部講師等への謝金</p> <p>○旅費 外部講師等への旅費 (原則として県内又は隣県から招聘)</p> <p>○需用費 事業の実施に直接必要な物品等 (資材費、消耗品費、燃料費、印刷代、材料費 (汎用性が低く、地域住民等が主体的に作業を行うもので必要性が認められるものに限る。))</p> <p>○役務費 事業実施主体が行う作業の補助作業を外部作業 者へ依頼する経費、活動に係る保険料、切手代等</p> <p>○使用料 会議室、バス、チェーンソー、刈払い機、軽トラ ック、簡易トイレ等の借上料等</p> <p>○委託料 専門性が高い、資格を必要とする特殊作業が伴 う等、事業実施主体自らが行うことが困難なも のに限る外部委託</p> <p>※次の経費については、対象外とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存事業の財源振替とする事業に要する経費 ・管理者のある施設・設備の維持管理に要する経費 ・事業実施主体構成員（事業実施主体の会員が代表を 務める法人も含む）への謝金、役務費（補助作 業を依頼する経費等）、旅費及び委託料 ・事業参加者への謝金（記念品等含む）、旅費及び 飲食代 ・高額（単価 5 万円以上）又は汎用性のある資材の 購入 ・個人で準備することが適当と考えられるもの ・先進地視察や研修受講など自己啓発に係る経費 ・土地の借上げ、買取り ・植栽樹種のうち外来種、移入種等植栽地での生育 に適さない樹種の苗木代 	<p>10/10 以内</p>	<p>500千円 ／団体</p>

2 事業区分：地域提案事業（市町村提案型） 実施主体：市町村

事業項目	交付対象経費及び内容	交付率	交付上限額
<p>①豊かな森づくり活動</p> <p>[例] 地域住民との協働による里山林の保全活動</p> <p>②自然環境保全活動</p> <p>[例] 希少野生生物の生息地の保全活動</p> <p>③森や自然とのふれあい活動</p> <p>[例] 子ども達や地域住民に対する森林・自然環境学習</p> <p>④木に親しむ環境づくり</p> <p>[例] 木材や木製品の良さへの理解を図る活動や木工体験など</p>	<p>○報償費 外部講師等への謝金</p> <p>○旅費 外部講師等への旅費（原則として県内又は隣県から招聘）</p> <p>○需用費 事業の実施に直接必要な物品等（資材費、消耗品費、燃料費、印刷代、材料費（汎用性が低く、地域住民等が主体的に作業を行うもので必要性が認められるものに限る。））</p> <p>○役務費 市町村が行う作業の補助作業を外部作業員へ依頼する経費、活動に係る保険料、切手代等</p> <p>○使用料 会議室、バス、チェーンソー、刈払い機、軽トラック、簡易トイレ等の借上料等</p> <p>○委託料 専門性が高い、資格を必要とする特殊作業が伴う等、市町村自らが行うことが困難なもの又は地域協働の取組みとして実施するものの外部委託</p> <p>○負担金 市町村が主体的に活動する協議会等の経費（ただし、当該事業に要する経費のみを対象とする）</p> <p>※次の経費については、対象外とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存事業の財源振替とする事業に要する経費 ・国庫又は県単独補助事業の市町村負担に要する経費 ・管理者のある施設・設備の維持管理に要する経費 ・市町村職員の給与又は被服等に要する経費 ・市町村職員への謝金、役務費（補助作業を依頼する経費）、旅費 ・事業参加者への謝金（記念品等含む）、旅費及び飲食代 ・高額（単価5万円以上）又は汎用性のある資材の購入 ・個人で準備することが適当と考えられるもの ・先進地視察や研修受講など自己啓発に係る経費 ・土地の借上げ、買取り ・植栽樹種のうち外来種、移入種等植栽地での生育に適さない樹種の苗木代 	<p>10/10 以内</p>	<p>5,000千円 ／市町村</p>

3 事業区分：市町村里山再生アクションプラン事業 実施主体：市町村

事業項目	交付対象経費及び内容	交付率	交付上限額
<p>市町村が策定する里山再生アクションプランに基づいて実施する次の事業</p> <p>①豊かな森づくり活動</p> <p>[例] 地域住民との協働による里山林の保全活動</p> <p>②自然環境保全活動</p> <p>[例] 希少野生生物の生息地の保全活動</p> <p>③森や自然とのふれあい活動</p> <p>[例] 子ども達や地域住民に対する森林・自然環境学習</p> <p>④木に親しむ環境づくり</p> <p>[例] 木材や木製品の良さへの理解を図る活動や木工体験など</p>	<p>○報償費 外部講師等への謝金</p> <p>○旅費 外部講師等への旅費 (原則として県内又は隣県から招聘)</p> <p>○需用費 事業の実施に直接必要な物品等 (資材費、消耗品費、燃料費、印刷代、材料費(汎用性が低く、地域住民等が主体的に作業を行うもので必要性が認められるものに限る。))</p> <p>○役務費 市町村が行う作業の補助作業を外部作業者へ依頼する経費、活動に係る保険料、切手代等</p> <p>○使用料 会議室、バス、チェーンソー、刈払い機、軽トラック、簡易トイレ等の借上料等</p> <p>○委託料 専門性が高い、資格を必要とする特殊作業が伴う等、市町村自らが行うことが困難なもの又は地域協働の取組みとして実施するものの外部委託</p> <p>○負担金 市町村が主体的に活動する協議会等の経費 (ただし、当該事業に要する経費のみを対象とする)</p> <p>※次の経費については、対象外とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存事業の財源振替とする事業に要する経費 ・国庫又は県単独補助事業の市町村負担に要する経費 ・管理者のある施設・設備の維持管理に要する経費 ・市町村職員の給与又は被服等に要する経費 ・市町村職員への謝金、役務費(補助作業を依頼する経費)、旅費 ・事業参加者への謝金(記念品等含む)、旅費及び飲食代 ・高額(単価5万円以上)又は汎用性のある資材の購入 ・個人で準備することが適当と考えられるもの ・先進地視察や研修受講など自己啓発に係る経費 ・土地の借上げ、買取り ・植栽樹種のうち外来種、移入種等植栽地での生育に適さない樹種の苗木代 	<p>10/10 以内</p>	<p>定額</p> <p>※基礎額、森林面積、人口を勘案して市町村毎に別途算定する。</p>

別表2（第5関係）

費目	内容	標準単価
報償費	外部講師等への謝礼（一般）	1回当たり 10,000円
	学識経験者への謝礼（大学教授等）	1回当たり 20,000円
旅費	交通費（自家用車）	1km当たり 37円
需用費	やまがた緑環境税普及啓発用木製プレートL （60cm×20cm、厚さ1cm）	1枚当たり 9,350円
	やまがた緑環境税普及啓発用木製プレートM （45cm×15cm、厚さ1cm）	1枚当たり 6,050円
	やまがた緑環境税普及啓発用木製プレートS （24cm×9cm、厚さ1cm）	1枚当たり 3,740円
	カラーコピー（A4）	1枚当たり 50円
	白黒コピー（A4）	1枚当たり 10円
	ガソリン（レギュラー）	1ℓ当たり 176円
	軽油	1ℓ当たり 158円
	混合油	1ℓ当たり 760円
	草刈機替刃（刃厚2.2mm、穴径25.4mm）	1枚当たり 1,749円
役務費	事業実施主体が行う作業の補助作業を外部作業 者へ依頼する経費（下記以外の作業）	1人半日当たり 9,400円
	刈払い機使用を伴う作業	1人半日当たり 10,500円
	チェーンソー使用を伴う作業	1人半日当たり 13,000円
使用料	チェーンソー （燃料・オイル等を除く機械単体分）	1台1日当たり 1,000円
	刈払い機 （燃料・オイル等を除く機械単体分）	1台1日当たり 500円
	軽トラック （燃料・オイル等を除く機械単体分）	1台1日当たり 2,000円

（注）

- 1 標準単価により難しい場合は、別途調査のうえ計上すること。
- 2 役務費の標準単価には燃料費、使用料を含むものとする。なお、役務費の見積りを徴取する場合も燃料費、使用料等を含めること。
- 3 使用料の標準単価は持出使用損料相当であり、別途リース店等からの見積がある場合はこの限りではない。
- 4 簡易トイレ、マイクロバス等上記に記載のない単価については、別途調査のうえ計上すること。

別表3（第6関係）

審査項目		評価の観点	評 点	
			地域提案事業	
			県民提案型	市町村提案型
事業趣旨への合致性	事業の趣旨に合致しているか	事業趣旨への適合度	0～1	0～1
波及性	幅広く参加者を募っているか	総参加者数	0～2	0～2
	事業実施主体以外との連携や積極的な広報など、税事業の普及啓発を推進しているか	事業実施主体構成員以外が多数を占める活動の有無 積極的な普及啓発の有無	0～4	— 0～4
実現性	実行可能な方法、スケジュール、スタッフ体制となっているか	計画の具体性の有無 経費積算の適格性及びコスト削減策の有無	0～6	0～6
	安全対策は講じられているか	安全管理体制又は安全管理手法の有無		
独自性	地域の実情や特性に応じ、創意工夫が見られるか	地域資源及び地域特性の積極的活用の有無	0～3	0～4
		新規性、先進性、創造性の有無		
継続・発展性	継続性や発展性が見込まれる事業であるか	次年度以降の計画の有無	0～5	0～4
		学校、他団体との連携		
		会費や参加費徴収の有無		
		みどり豊かな森林環境づくり以外にも活動がある		—
その他	過去採択回数及び実績評価	過去採択回数	0～3	0～3
		計画目標（参加者数）に対する達成率	0～—2	0～—2
満 点			24	24
事業採択基準点			12	12

(注)

- 1 評点採点基準は別途審査要領に定める。
- 2 市町村里山再生アクションプラン事業については上記審査項目によらず、里山再生アクションプランに基づくものであるか否かを審査項目とする。

令和 7 年度山形県みどり豊かな森林環境づくり推進事業審査要領

第 1 趣旨

この要領は、令和 7 年度山形県みどり豊かな森林環境づくり推進事業を審査するにあたり、必要な事項について定めるものとする。

第 2 審査方法

- 1 令和 7 年度山形県みどり豊かな森林環境づくり推進事業募集要領に基づき応募された提案事業について、第 1 次審査及び第 2 次審査により総合的に判断し、採択の可否及び交付額を決定する。
- 2 審査は、別紙「令和 7 年度山形県みどり豊かな森林環境づくり推進事業審査基準」に基づき行う。
- 3 第 1 次審査は、応募を受けた総合支庁長（以下「支庁長」という。）が行い、その結果を令和 7 年 2 月 19 日（水）までに別記様式第 1 号により環境エネルギー部長（以下「部長」という。）に報告する。
- 4 第 2 次審査は、山形県みどり豊かな森林環境づくり推進事業審査委員会（以下「審査委員会」という。）が実施し、採択の可否及び交付金額を部長に報告する。
- 5 審査結果の報告を受けた部長は、審査結果をやまがた緑環境税評価・検証委員会に報告する。
- 6 部長は、審査結果を別記様式第 2 号又は別記様式第 3 号により応募者に通知するとともに、その旨を別記様式第 4 号により支庁長に通知する。

第 3 審査委員会

- 1 審査委員会の委員は、環境エネルギー部次長、環境企画課長及びみどり自然課長、総務部税政課長並びに農林水産部森林ノミクス推進課長の 5 名で構成する。
- 2 審査委員会は、委員の過半数の出席をもって成立する。
- 3 委員の代理出席は認めない。
- 4 審査委員会の委員長は、環境エネルギー部次長をもって充てる。
- 5 審査委員会は、委員長が招集し、委員長は会議の座長となる。
- 6 審査委員会に係る庶務は、環境エネルギー部みどり自然課が担当する。

令和7年度山形県みどり豊かな森林環境づくり推進事業審査基準

第1 第1次審査基準

- 1 第1次審査では、令和7年度山形県みどり豊かな森林環境づくり推進事業審査基準表（別表1～3）に基づき、提出された応募書類を事業区分毎に評価し、採点する。
- 2 事業区分のうち、地域提案事業（県民提案型）及び地域提案事業（市町村提案型）については、事業区分毎に順位を付けるものとする。

第2 第2次審査基準

- 1 第2次審査の対象は、第1次審査において別表4に定める事業採択基準を満たすと判定された事業とする。
- 2 第2次審査では、事業内容、第1次審査結果での評点及び順位を総合評価し、採択の可否を決定する。なお、交付見込金額については予算の範囲内で決定する。また、採択決定にあたり事業内容等に条件を付す場合がある。

別表1【地域提案事業（県民提案型）】

令和7年度山形県みどり豊かな森林環境づくり推進事業審査基準表【地域提案事業（県民提案型）】

団体名：

審査項目	審査内容	評価	審査に関する情報 (申請者から得た具体的な事項を記載)		
事業の適格性	(1) 事業内容が次の全てを満たしているか【令和7年度みどり豊かな森林環境づくり事業募集要領第2抜粋】 <input type="checkbox"/> ア やまがた緑環境税条例及びやまがた緑環境税基金条例の目的（森林の有する公益的機能の維持増進及び持続的な発揮に関する施策）に合致する事業であること <input type="checkbox"/> イ 他の補助金、交付金、負担金その他の財政的援助を受けている、又は受ける見込みのある事業でないこと <input type="checkbox"/> ウ 個人又は特定の事業者の利益、若しくは政治又は宗教的宣伝を目的とした事業でないこと <input type="checkbox"/> エ 各種法令に違反していないこと <input type="checkbox"/> オ 事業の実施場所が県内であること（土地所有者等の同意を得ており、事業実施が可能であること） <input type="checkbox"/> カ 主たる活動を専門業者等に委託する事業でないこと <input type="checkbox"/> キ 主たる活動が施設又は設備の整備とみなされる事業でないこと <input type="checkbox"/> ク 主たる活動が物品の購入や設置及び展示、贈呈のみとみなされる事業でないこと <input type="checkbox"/> ケ 地域と協働による実施が可能にも関わらず委託している事業でないこと <input type="checkbox"/> コ 令和7年度内に完了する事業であること <input type="checkbox"/> サ 3年を超えて実施される事業でないこと（募集要領第2第2項(11)のただし書きに該当する場合を除く） <input type="checkbox"/> シ 安全管理について、配慮がなされていること。		<input type="checkbox"/> 応募書で確認済み		
交付対象者としての適格性	(2) 団体が次の全てを満たしているか【令和7年度みどり豊かな森林環境づくり事業募集要領第4抜粋】 <input type="checkbox"/> ア 事業の会計及び経理を明確に行い、報告することができること <input type="checkbox"/> イ やまがた緑環境税活用事業の普及啓発に協力できること <input type="checkbox"/> ウ やまがた緑環境税活用事業等に関して実施する調査に事業終了後も協力できること <input type="checkbox"/> エ 暴力団員等がその事業活動を支配するもの又は暴力団員等をその業務に従事させ、若しくは当該業務の補助者として使用するおそれのあるものでないこと		<input type="checkbox"/> 応募書で確認済み		
事業内容	合致性の趣旨 (3) 事業の趣旨に合致しているか（該当するもの1つを選択） <input type="checkbox"/> ◇優れて合致している <input type="checkbox"/> ◇合致している	配点 1 0	<input type="checkbox"/> 応募書で確認済み		
	波及性 (4) 幅広く参加者を募っているか（該当するもの1つを選択） <input type="checkbox"/> 事業の総参加者数が100人以上である <input type="checkbox"/> 事業の総参加者数が20人以上である <input type="checkbox"/> 事業の総参加者数が20人未満である	配点 2 1 0	<input type="checkbox"/> 応募書で確認済み		
		(5) 事業実施主体以外との連携や積極的な広報など、税事業の普及啓発を推進しているか（該当するもの全てを✓選択） <input type="checkbox"/> 事業実施主体構成員以外の参加者数が8割を占める活動が計画されている ◇事業周知や終了後の活動紹介など、広くPRしようとする積極的な姿勢が見られる <input type="checkbox"/> 活動前の周知、やまがた緑環境税を活用している活動であることのPR <input type="checkbox"/> 活動前後において、広報媒体（SNS、広報誌）の活用 <input type="checkbox"/> 直近5年間に森づくり発表会への参加がある。または前年度SNSや広報誌を活用して情報発信をしている。	配点(最大4点) 1 1 1 1	<input type="checkbox"/> 応募書で確認済み	
			(6) 実行可能な方法、スケジュール、スタッフ体制となっているか（該当するもの全てを✓選択） <input type="checkbox"/> 何を、なぜ、どのような方法でやりたいのかが明確である <input type="checkbox"/> 事業に見合った適正な経費で積算され、かつコスト削減に努めている	配点 1 1	<input type="checkbox"/> 応募書で確認済み
				(7) 安全対策は講じられているか（該当するもの全てを✓選択） <input type="checkbox"/> 救急箱を準備する。 <input type="checkbox"/> 緊急連絡体制図を作成する <input type="checkbox"/> 傷害保険に加入する。 <input type="checkbox"/> 看護師、保健師を配置する。 <input type="checkbox"/> 直近5年間に（公財）やまがた森林と緑の推進機構の安全研修会に参加。 <input type="checkbox"/> 草刈機、チェーンソーの安全講習に参加した者がいる（氏名） <input type="checkbox"/> その他（上記以外のものや受講の予定があれば記載。）	配点(最大4点) 1 1 1 1 1 1
	独自性 (8) 地域の実情や特性に応じ、創意工夫が見られるか（該当するもの全てを✓選択） <input type="checkbox"/> 地域資源や地域特性が積極的に活用されている <input type="checkbox"/> 新規性、先進性、創造性が認められる		配点 1 2		<input type="checkbox"/> 応募書で確認済み
		継続・発展性 (9) 継続性や発展性が見込まれる活動であるか（該当するもの全てを✓選択） <input type="checkbox"/> 次年度以降の活動計画があり、連携する団体や参加者が増えていくことが見込める ◇地域に根差した活動として継続される可能性が高い <input type="checkbox"/> 学校関係との連携（学校名） <input type="checkbox"/> 地域団体との連携（団体名） ◇団体のスキルアップや自立化に向けた自主財源の確保が見込める <input type="checkbox"/> 会費や参加費を徴収している団体である ◇継続性や発展性が見込める <input type="checkbox"/> このみどり豊かな森林環境づくり推進事業以外にも活動がある又は行う予定がある	配点 1 1 1 1 1		<input type="checkbox"/> 応募書で確認済み
	過去の助成実績 (10) 過去採択回数（該当するもの1つを選択） <input type="checkbox"/> ◇初めて <input type="checkbox"/> ◇過去採択1回 <input type="checkbox"/> ◇過去採択2回		配点 3 2 1		<input type="checkbox"/> 応募書で確認済み
			(11) 過去の実績評価（該当するもの1つを選択）※新規事業及び前年度に事業が災害等により中止された場合は審査対象外 <input type="checkbox"/> ◇同事業前年度参加者数等実績が目標を著しく下回っている（5割以下） <input type="checkbox"/> ◇同事業前年度参加者数等実績が目標を下回っている（7割以下）	配点 -2 -1	<input type="checkbox"/> 応募書で確認済み

別表2【地域提案事業（市町村提案型）】

令和7年度山形県みどり豊かな森林環境づくり推進事業審査基準表【地域提案事業（市町村提案型）】

市町村名：

審査項目	審査内容	評価	審査に関する情報 (申請者から得た具体的な事項を記載)	
事業の適格性	(1) 事業内容が次の全てを満たしているか【令和7年度みどり豊かな森林環境づくり事業募集要領第2抜粋】 <input type="checkbox"/> ア やまがた緑環境税条例及びやまがた緑環境税基金条例の目的（森林の有する公益的機能の維持増進及び持続的な発揮に関する施策）に合致する事業であること <input type="checkbox"/> イ 他の補助金、交付金、負担金その他の財政的援助を受けている、又は受ける見込みのある事業でないこと <input type="checkbox"/> ウ 個人又は特定の事業者の利益、若しくは政治又は宗教的宣伝を目的とした事業でないこと <input type="checkbox"/> エ 各種法令に違反していないこと <input type="checkbox"/> オ 事業の実施場所が県内であること（土地所有者等の同意を得ており、事業実施が可能であること） <input type="checkbox"/> カ 主たる活動を専門業者等に委託する事業でないこと <input type="checkbox"/> キ 主たる活動が施設又は設備の整備とみなされる事業でないこと <input type="checkbox"/> ク 主たる活動が物品の購入や設置及び展示、贈呈のみとみなされる事業でないこと <input type="checkbox"/> ケ 地域と協働による実施が可能にも関わらず委託している事業でないこと <input type="checkbox"/> コ 令和7年度内に完了する事業であること <input type="checkbox"/> サ 3年を超えて実施される事業でないこと（募集要領第2第2項(11)のただし書きに該当する場合を除く） <input type="checkbox"/> シ 安全管理について、配慮がなされていること。		<input type="checkbox"/> 応募書で確認済み	
事業内容	合致性の事業趣旨 (2) 事業の趣旨に合致しているか（該当するもの1つを選択）	配点	<input type="checkbox"/> 応募書で確認済み	
	<input type="checkbox"/> ◇優れて合致している	1		
	<input type="checkbox"/> ◇合致している	0		
	波及性 (3) 幅広く参加者を募っているか（該当するもの1つを選択）	<input type="checkbox"/> 事業の総参加者数が100人以上である	2	<input type="checkbox"/> 応募書で確認済み
		<input type="checkbox"/> 事業の総参加者数が20人以上である	1	
		<input type="checkbox"/> 事業の総参加者数が20人未満である	0	
		(4) 事業実施主体以外との連携や積極的な広報など、税事業の普及啓発を推進しているか（該当するもの全てを✓選択） ◇事業周知や終了後の活動紹介など、広くPRしようとする積極的な姿勢が見られる	配点(最大4点)	<input type="checkbox"/> 応募書で確認済み
	<input type="checkbox"/> 活動前の周知、やまがた緑環境税を活用している活動であることのPRがある。	1		
	<input type="checkbox"/> 活動前後において、市町村の広報媒体（SNS、広報誌）の活用がある。	1		
	<input type="checkbox"/> 直近5年間に森づくり発表会への参加がある。（ 回）	1		
<input type="checkbox"/> 前年度SNSや広報誌を活用して情報発信をしている。	1			
<input type="checkbox"/> やまがた緑環境税活用事業について、市町村独自のPRがある。	1			
実現性 (5) 実行可能な方法、スケジュール、スタッフ体制となっているか（該当するもの全てを選択）	<input type="checkbox"/> 何を、なぜ、どのような方法でやりたいかが明確である	1	<input type="checkbox"/> 応募書で確認済み	
	<input type="checkbox"/> 事業に見合った適正な経費で積算され、かつコスト削減に努めている	1		
	(6) 安全対策は講じられているか（該当するもの全てを✓選択）	配点(最大4点)	<input type="checkbox"/> 応募書で確認済み	
	<input type="checkbox"/> 救急箱を準備する。	1		
	<input type="checkbox"/> 緊急連絡体制図を作成する。	1		
	<input type="checkbox"/> 傷害保険に加入する。	1		
	<input type="checkbox"/> 看護師、保健師を配置する。	1		
<input type="checkbox"/> 直近5年間に（公財）やまがた森林と緑の推進機構の安全研修会に参加。	1			
<input type="checkbox"/> 草刈機、チェンソーの安全講習に参加した者がいる（氏名 ）	1			
<input type="checkbox"/> その他（上記以外のものや受講の予定があれば記載。 ）	1			
独自性 (7) 地域の実情や特性に応じ、創意工夫が見られるか（該当するもの全てを✓選択）	<input type="checkbox"/> 地域資源や地域特性が積極的に活用されている	2	<input type="checkbox"/> 応募書で確認済み	
	<input type="checkbox"/> 新規性、先進性、創造性が認められる	2		
継続・発展性 (8) 継続性や発展性が見込まれる活動であるか（該当するもの全てを✓選択）	<input type="checkbox"/> 次年度以降の活動計画があり、連携する団体や参加者が増えていくことが見込める	2	<input type="checkbox"/> 応募書で確認済み	
	◇地域に根差した活動として継続される可能性が高い			
	<input type="checkbox"/> 学校関係との連携（学校名 ）	1		
	<input type="checkbox"/> 地域団体との連携（団体名 ）	1		
過去の助成実績 (9) 過去採択回数（該当するもの1つを選択）	<input type="checkbox"/> ◇初めて	3	<input type="checkbox"/> 応募書で確認済み	
	<input type="checkbox"/> ◇過去採択1回	2		
	<input type="checkbox"/> ◇過去採択2回	1		
	(10) 過去の実績評価（該当するもの1つを選択）※新規事業及び前年度に事業が災害等により中止された場合は審査対象外	配点	<input type="checkbox"/> 応募書で確認済み	
	<input type="checkbox"/> ◇同事業前年度参加者数等実績が目標を著しく下回っている（5割以下）	-2		
<input type="checkbox"/> ◇同事業前年度参加者数等実績が目標を下回っている（7割以下）	-1			

別表3【市町村里山再生アクションプラン事業】

令和7年度山形県みどり豊かな森林環境づくり推進事業審査基準表

【市町村里山再生アクションプラン事業】

市町村名：

審査項目	審査内容	審査に関する情報
事業の適格性	<p>(1) 事業内容が次の全てを満たしているか</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ア やまがた緑環境税条例及びやまがた緑環境税基金条例の目的（森林の有する公益的機能の維持増進及び持続的な発揮に関する施策）に合致する事業であること <input type="checkbox"/> イ 他の補助金、交付金、負担金その他の財政的援助を受けている、又は受ける見込みのある事業でないこと <input type="checkbox"/> ウ 個人又は特定の事業者の利益、若しくは政治又は宗教的宣伝を目的とした事業でないこと <input type="checkbox"/> エ 各種法令に違反していないこと <input type="checkbox"/> オ 事業の実施場所が県内であること（土地所有者等の同意を得ており、事業実施が可能であること） <input type="checkbox"/> カ 主たる活動を専門業者等に委託する事業でないこと <input type="checkbox"/> キ 主たる活動が施設又は設備の整備とみなされる事業でないこと <input type="checkbox"/> ク 主たる活動が物品の購入や設置及び展示、贈呈のみとみなされる事業でないこと <input type="checkbox"/> ケ 地域と協働による実施が可能にも関わらず委託している事業でないこと <input type="checkbox"/> コ 令和7年度内に完了する事業であること <input type="checkbox"/> シ 安全管理について、配慮がなされていること。 <p>(2) 承認された又は承認される見込みのある里山再生アクションプランに基づく事業であること</p>	<input type="checkbox"/> 応募書確認済み <input type="checkbox"/> アクションプラン確認済み

別表 4

令和7年度山形県みどり豊かな森林環境づくり推進事業 事業採択基準

審査項目		事業採択基準		
		地域提案事業		市町村里山再生 アクションプラン事業
		県民提案型	市町村提案型	
事業の適格性		満たしている	満たしている	満たしている
交付対象者としての適格性		満たしている	—	—
事業内容	事業趣旨への合致性	12点/24点	12点/24点	—
	波及性			
	実現性			
	独自性			
	継続・発展性			
過去の助成実績				